

令和6年度第3回

関東学生ホッケー連盟役員会議事録

期日：2024年8月2日（金）

時間：19時30分～21時30分

場所：オンラインにて開催

出席者：一川邦彦（副会長）、塩野谷住雄（以上監事）、久我晃広（理事長）、萬納宏俊、成田健一（以上副理事長）、宮澤哲郎（事務局長）、西澤英一郎、高田良太、石田英司（以上常任理事）、渡邊道彦（臼井常任理事の後任予定として参加）、西浦大道（学連委員長）、榎本健吾（学連副委員長）、中島はる希（表彰委員長）、秦野峻輔（競技委員長）、本間陽希（審判委員長）、伊藤拓朗（広報委員長）、矢吹奈緒（財務委員長）、横山花音（学生役員）

古屋会長が欠席のため、一川副会長が代行して開催を宣言。

【審議事項】

1. インカレ準備について～現在までの準備状況につき説明があり、必要な事項について審議を行った

- ① 矢萩財務委員長より、インカレは（準決勝・決勝）有料試合とするが、その料金設定をどうするか、学生意見の説明があった、協議の結果、昨年同様に「1日券1000円・2日券1800円」とすることを決定した。また観客増を図る観点から、「インカレ出場チーム、および日学連所属チームは、ID提示により無料とする」ことが承認された。
- ② 西浦学連委員長より、観客増のための各種施策の説明があった。「認知拡大に向けて、各加盟校運営 SNS 活用、各大学の広報媒体、学生新聞とのコラボ」「チケット売上数確保に向けての取り組み」「ホッケーショップの出店、キッチンカーの出店、ハーフタイムショーの実施、グッズ販売により観客が来る仕組み作り」について推進する旨の説明があった。
- ③ 伊藤広報委員長より、広告協賛についての説明があった。
 - ・例年通り、大会公式パンフレットへの広告協賛をお願いする。広告協賛に関する要項、趣意書、申込書は作成済みで、8月第1週より各企業に展開する。
 - ・パンフレットの構成に関して、現在、「内容が事務的すぎて広告媒体としての魅力が小さい」「高価な『裏表紙の裏』の隣のページがメモ欄であるなど、構成に課題がある」といった意見が出ており、構成、内容を見直す予定。
 - ・例年協賛いただいている企業には、今年も確実に協賛をいただけるようにコンタクトする。大口協賛先である損保ジャパンさまに対しては、パンフレット裏表紙、横断幕、インタビューバックボードでの協賛を JHA 経由でお願いする予定。
 - ・新規協賛企業として、石田常任理事より工作いただいている竹中工務店関係のグループ会社（アサヒファシリティズ、竹中土木）のほか、部活メディア、毎日コムネット、および東京都競馬さま（JHA 経由）から協賛を見込んでいる。カンロさまには例年物品協賛いただいております、今年度もお願いする予定である
 - ・宮澤事務局長より、協賛金が（昨年既存先を確保できれば）、新規先により収支が改善し、関東学連負担金が減少する旨の説明があった。また石田常任理事より、新規先を獲得した場合の、以降の事務対応の流れなどについて確認あり。本件は、別途、臼井常任理事に確認し回答することとした。

- ④ インカレ出場枠数及び大学大会出場校について、西浦委員長より報告があった。
男子は春季リーグ2部2位立教大学、女子は同1部6位防衛大学まで出場枠を確保。
久我理事長より、「北海道大学女子が出場辞退したため、関東の女子枠が1枠増となった」「明治大学が王座ベスト4となったことから、関東の男子枠が1枠増となった」旨の補足説明があった。
B インカレ出場校の東日本出場枠数は男子3チーム、女子4チームであり、既に対象チームには参加申込書を展開済である。
- ⑤ 宮澤事務局長より、2025年インカレについては、THA に協力いただき、グラウンド予約を申請済の旨、説明があった。具体的な予約日程は、「10月30日（木）31日（金）11月1日（土）大井ホッケー競技場メインおよびサブ、11月2日（日）3日（月・祝）大井ホッケー競技場メインメインピッチ」となっている。
なお、久我理事長より、大井でのインカレは2027年まで実施する予定である旨の説明があった。
- ⑥ 中島副委員長より、インカレ開閉式・インカレ廃盤品の代替品（優勝杯レプリカ）について審議を行い承認した。またインカレ開閉式の一部運営見直し（3位・4位表彰はメイン観客席の真ん中のスペース活用する）を承認した。

・他、準備状況を確認すべく、工程表の各項目について確認を行った。

・本間審判委員長より競技役員の手配は、既に京王観光と連携して40部屋確保している旨の報告があった。

・一川副会長（インカレ運営委員長）より、工程表を各担当がチェックし、抜けている項目が無いチェックするよう指示があった。準備が遅れているのではないかと指摘あり。

昨年同様に、早い段階で学生幹部（福島委員長、各委員長など）をアメニスに紹介し、諸々の折衝を進めるよう対応したいとの発言があった。ほか、看護師の手配はどうなっているのか。

キッチンカーの依頼など、具体的に準備を進めるよう指示があった。

・成田副理事長より、ジャッジは関東学連で手配するものであり、要員確保を進めるよう指示があった。

・宮澤事務局長より、大会運営には相応の人員確保が必要であり、関東学連の加盟チーム全てが協力しないと、必要な人員が確保できない。特に初日での相応の人数確保が必要。動態表を早めに作成するよう指示があった。

・以上踏まえ、西浦委員長より最新の工程表を、社会人役員、学生役員に改めて展開することとした。

2. 競技運営規程の改定について

・秦野競技委員長より「男子・女子リーグプール戦において、競技時間内に勝敗が決しない場合は、S0（シュートアウト）戦によって決着をつける。その場合、S0戦で勝ったチームに2点、負けたチームに1点が勝ち点として与えられることとする」旨の競技運営規程の改定について説明があり、審議の結果、承認した。

・具体的な競技運営規程の変更箇所は以下の通り

「6.（4）男子1、2、3部、女子1、2部の全ての試合において、8.（1）に規定する競技時間内に勝敗が決しない場合には、S0（シュートアウト）戦によって、決着をつける。」

「7.（1）勝ったチームに3点、負けたチームに0点、引き分けの場合にはS0戦で勝ったチームに2点、負けたチームに1点が勝ち点として与えられる。」

・現状は、プール戦において、競技時間内に勝敗が決しない場合はS0戦を行わず、引き分けとして両チームに勝ち点1が与えられる。そして、総当たり終了時点で勝ち点・得失点差・得点数・直接対決の結果を踏まえ、順位が決定しない場合にS0戦を行うことが規定されている。しかし、春リーグでS0戦を実施する際に、対象チーム間での選手の疲労に差があるなど、公平性の観点で問題ではないか、との意見があった。同意見を踏まえ、今回の競技運営規程の変更に至ったもの。8/31開催の監督主将会議で周知予定。

【報告／連絡事項】

1. 秋季リーグの競技役員委嘱について

- ・秦野競技委員長より、競技役員の委嘱について報告された。
- ・競技役員は以下の通りである。

テクニカル・デリゲート (TD) 高野 禎

アシスタント・テクニカル・デリゲート (ATD) 西澤 英一郎

TO マネージャー (TOM) 西澤 英一郎

アンパイア・マネージャー (UM) 成田 健一

アシスタント・アンパイア・マネージャー (AUM) 栗原 崇、高野 光洋

2. 日学連常務理事会議事内容の報告

- ・20240619に開催された日学連常務理事会議事内容について、久我理事長より報告があった。内容は、日学連常務理事会議事録記載の通り。

3. 所属審判講習会 兼 D級審判資格認定講習会実績について

- ・本間審判委員長より、3月に実施した所属審判講習会 兼 D級審判資格認定講習会の経費実績等について報告があった。

4. GK 王盾について

- ・中島表彰委員長より、GK 王盾 (2部) について修理を依頼する予定であったが、(業者に持ち込んだところ) 傷が大きいため修理が難しく、再発注する旨の報告があった。

5. 今後のインカレ準備委員会の開催について

- ・宮澤事務局長より、今後の役員会は必要に応じて開催するが、インカレ準備をしっかりと行うため、10/10木曜日・10/24木曜日 (時間は19時半～、リモート) にてインカレ準備委員会を開催するとの報告があった。

以上

(押印略)

関東学生ホッケー連盟副会長 一川邦彦

関東学生ホッケー連盟理事長 久我晃広

関東学生ホッケー連盟学連委員長 西浦大道